

札幌社保協 FAXニュース

2008年 9月25日(木)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

札幌社保協創
立10周年記念レ
セプションは、09
年1月10日(土)で
す。

後期高齢者医療制度の廃止、介護労働者の待遇改善を！ 市議会に国への意見書を要請

札幌社保協は札幌市議会が始まった22日、後期高齢者医療制度廃止と、介護労働者の人材確保・待遇改善を求める国への意見書を議会として国へ出してほしいと、各党派へ要請を行いました。

民主党-政策審議会の塩田氏が対応、「2つとも検討したい、議員に伝える」。自民党-すずき健雄議員が対応「検討させてもらいます」。市民ネットワーク-伊藤牧子議員が対応、「預かって検討させてもらう」。公明党-受付

の人が受け取る。共産党-宮川潤議員・幹事長が対応、「後期高齢者は選挙如何では各党の対応も変わってくるのではないかと。介護については今議会の代表質問で取り上げるつもり、2つとも合意できるようにがんばりたい」。自民維新の会-宮本吉人氏が対応「お金が無いんだか何でも節約しないと」と独自の見解を述べていました。改革クラブ-堀川素人議員が受け取り。

全体として、「後期高齢者医療制度廃止」についても特に否定的な対応はありませんでした。介護については対応してくれた議員の身内に介護関係の職員がいたり、介護を受けている人がいる話が出るなど、好意的な反応でした。

党派要請にまわったのは、勤医協在宅2人、清田年金者組合2人、手稲年金者組合1人、北区社保協1人、札幌社保協の齊藤事務局長でした。勤医協在宅のヘルパー-田村さんは介護職員のきびしい実態を訴えて回りました。



後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書案

1. いのちを年齢で差別をする 後期高齢者医療制度は、廃止してください。

介護労働者の人材確保と待遇改善を求める意見書案

1. 「介護従事者等の人材確保のための介護従事者等の処遇改善に関する法律」に基づき、平成21年4月までに介護従事者の確保を図るように、賃金をはじめとする処遇の改善のための施策を早急に具体化し、実施して下さい。

2. 介護従事者の人材確保・賃金水準の改善については、国の責任で行い、介護保険料、介護サービス利用料の負担増にならないようにして下さい。

障がい者交通費助成の「見直し」白紙に戻して話し合いを



障がい者交通費助成・大幅削減
に反対する街頭署名行動

10月11日(土)
午後1時～2時
大通り公園西3・4丁目

障がい者交通費助成の問題を話し合う、障道協と交通権を考える連絡協議会が主催した、「当事者の集まり」が23日行われ、40人以上が参加しました。

19日の一部新聞報道で「助成削減見送り」と出たため、この間役員らが市の考えなどを確認しに行った経過も報告されました。市としては合意の無いまま09年4月実施の強行はできないと考えているが、見送ったわけでもなく、白紙撤回をしたわけでもないこと、見なおし案に対する意見で問題もあることが分かったので使いやすい制度に検討していく等と説明しています。また、市長との面会も10月中に実現したいと答えました。

参加者からは「現行の予算の枠内ということなら増える費用を抑制することになる」「利用が増えるのは障がい者の社会参加が増えて喜ぶことではないのか」「市民の後押しが無ければ市長へ迫れないので、宣伝などアピールが必要」などの意見が出されました。

後藤交通権を考える連絡協議会会長は、「多くの団体と協議し団結していくことを今後も追求したい、市民と連帯し署名を集めていく、市の態度が変わってきているのは運動の成果、一旦白紙に戻してというのは現段階でも重要で7200人の署名の重みがある、今後は国に対する働きかけも含めて運動を強めたい」と述べました。